

新しい時代の学びの環境整備に向けた提言

令和3年11月19日

全 国 知 事 会
全 国 市 長 会
全 国 町 村 会

新しい時代の学びの環境整備に向けた提言

新型コロナウイルス感染症の再拡大時にあっても、必要な教育活動を継続して、子どもたちの学びを保障するためには、少人数学級により児童・生徒間の十分な距離を保つことができるよう教員の確保が是非とも必要である。

また、中学校における少人数学級の推進や小学校高学年における専科指導教員の計画的な配置に必要な教職員定数の確保のため、基礎定数の見直しや加配定数の充実等、所要の措置を図ることが重要である。

さらに、公立小・中学校においては、児童・生徒の「1人1台端末」の環境が実現する中、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学び双方の充実を実現するためには、少人数によるきめ細やかな指導体制が必要であり、学習用ソフトウェアを含む端末・ネットワーク環境の改善や情報セキュリティ対策の強化及びそれらを有効活用するためのICT教育人材の配置の充実が必要である。

こうしたことから、国におかれては、

- (1) 少人数学級編制を可能とする教員の確保
 - (2) 専科指導教員の配置や地域の実情に応じた教育課題を解決するために必要な加配定数の充実・確保
 - (3) 情報通信技術支援員（ICT支援員）等のICT教育人材の配置充実
 - (4) 情報セキュリティ対策の強化や、更新費用、ランニングコスト等も含めたICT環境整備に必要な財政措置の拡充
- など、学校教育環境の整備を引き続き図ることを強く要望する。

令和3年11月19日

全国知事会会長 平井 伸治
全国市長会会長 立谷 秀清
全国町村会会長 荒木 泰臣